

| | | | | | |
|--|----------|---------|------------|-----|---|
| 授業科目名 | 基礎看護学実習Ⅱ | 担当教員 | 教授 津本 優子 他 | | |
| 開講年次及び学期 | 2年 後期 | 必修・選択の別 | 必修 | | |
| 開講形態 | 実習 | 時間数 | 90 | 単位数 | 2 |
| 授業の目的（概要） | | | | | |
| <p>基礎看護学実習Ⅱは、看護過程や日常生活援助論・ヘルスアセスメント技術演習などの既習の知識や技術を活用した実践を通して、看護の基礎的な方法を学ぶ。一人の患者を受け持ち、患者の健康問題を生活行動の面からアセスメントし、対象者の全体像を把えて、健康問題を解決するための看護の一連の過程を展開し、日々変化する患者のニーズに応じた看護を行う。そして、これらの体験を通して、病院の役割・機能、患者、看護師の役割を理解し、人間観、看護観の構築をめざす。</p> | | | | | |
| 学修成果（到達目標） | | | | | |
| <p>I. 看護過程の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要とされる観察・コミュニケーションを行うことができる 2. 診療記録や患者自身から看護に必要な情報を取捨選択して収集し、アセスメントすることができる 3. 患者の健康問題をあげることができ、その優先順位を判断できる 4. 個別性を考慮した看護計画・実践ができる 5. 実践した看護の評価を、患者の言動をもとに行うことができる 6. 日々変化する患者のニーズに応じて計画を修正しながら実践できる 7. 日々の看護行為の過程で収集された情報を再整理しながら全体的な看護計画の立案ができる <p>II. 日常生活援助</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の状態・状況に応じた援助の方法を選択できる 2. 患者に起こりうるリスクを考慮し、安全を確保できる 3. 患者の安楽に配慮した援助ができる 4. 患者の自立に向けた援助ができる 5. 患者を観察しながら適切な援助ができる 6. 科学的根拠に基づいたケアの提供ができる <p>III. 専門職としての基本的態度について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケア提供の際にインフォームド・コンセントを実施することができる 2. 患者の個人情報適切に保護することができる 3. 自分自身の健康管理ができる 4. スタンダード・プリコーションを遵守し、感染防止行動がとれる 5. 指導者に報告・相談を行い、支援のもとでケアが実施できる 6. 患者、看護師、その他医療チームから学ぶ姿勢を持つことができる 7. 看護学生としての身なり、言動、振る舞いに責任を持つことができる | | | | | |
| キーワード | | | | | |
| 臨地実習、看護過程、日常生活援助 | | | | | |
| 授業の進め方 | | | | | |
| <p>附属病院における対象者との対面実習を主とし、一部学内における演習形式で実施する。ただし感染のフェーズが上がった場合はフェーズに合わせて、学内実習(電子カルテ使用)⇒オンライン実習(ライブを含む事例演習)に順次切り替える。</p> | | | | | |
| 成績評価の方法（合否基準） | | | | | |
| <p>対面実習の場合、実習の準備、参加度、態度、状況判断能力、技術レベル、実習記録を総合的に評価する。</p> <p>学内実習に切り替わった場合、到達目標Ⅱについては実習記録の計画段階で評価する。</p> <p>オンライン実習のみとなった場合、事例の展開の記録および最終レポートで評価する。</p> | | | | | |
| 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「臨地実習の手引き」を配布する。 ・看護過程論演習・ヘルスアセスメント技術演習・日常生活援助技術演習等の看護関連科目の他、形態と機能・病理学の基礎・疾病論・薬理と薬剤などの基礎科目についても、教科書や配布資料を活用すること。 | | | | | |
| オフィスアワー | | | | | |
| 津本優子(基礎看護学講座) 質問等随時 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp | | | | | |
| モデル・コア・カリキュラムとの関連 | | | | | |
| <p>D-1 看護過程展開の基本</p> <p>D-2 基本的な看護技術</p> <p>F-1 臨地実習における学修</p> <p>F-2 ケアへの参画</p> | | | | | |

授業計画 ※実習期間は2021年2月4日(木)～19日(金)とし、附属病院で実施する予定。

| 週 | 曜日 | 8:30 | 9:00 | 16:00 | 看護過程の展開 |
|-----|----|-----------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------|
| 1週目 | 木 | | 学内オリエンテーション (9:00～12:00) | 個人面接 (13:00～) | 事前学習 |
| | 金 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 (病棟リ・シャドウ実習・患者紹介) | カンファレンス (学内) | 情報収集 |
| 2週目 | 月 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | データベース作成 アセスメント |
| | 火 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | 学内実習 (データベース・関連図作成) | アセスメント |
| | 水 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 関連図作成 |
| | 木 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 関連図修正 |
| | 金 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 計画立案 |
| 3週目 | 月 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 実施・評価・ 計画修正 |
| | 火 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 実施・評価・ 計画修正 |
| | 水 | 体調・行動計画チェック | 病棟実習 | カンファレンス (学内) | 実施・評価 サマリ作成 |
| | 木 | | 全体討議準備 (9:00～12:00) | 全体討議 (13:00～16:00) | 実践の振り返り 看護観のまとめ |
| | 金 | 記録提出 (～9:00) | | 個人面接・実習室清掃 (13:00～) | ※ 網掛けは学内 |

備考

- ・ 2年前期終了時まで履修すべき授業科目のうち、3科目以上の未履修科目がある場合、本科目は受講できない。但し、2年後期で履修見込みのものは除く。
- ・ 実習期間中は実習病棟ごとに教員と実習指導者による指導が行われる。具体的プログラムは1月初旬に提示する。
- ・ 以下に挙げる事前プログラムすべてに参加すること。 日程は決定次第連絡する。
 - ① ベッドサイドにおける危険予知訓練 (12月予定)
 - ② 個人情報保護に関する研修 (12月予定)
 - ③ 直前オリエンテーション (2021年2月4日 9:00～16:00)